

政経研究所共同研究資料

一、釜山広域市廳（国際協力課）での聞き取り調査

会場 釜山広域市廳一F会議室

日時 二〇一四年一月一三日 午前一〇時～午後〇時

説明者 釜山広域市国際協力課 權 大恩氏 通訳一名（女性）

日本大学 山田光矢、佐渡友哲、孔 義植、崔 永鎬

（研究員）

釜山広域市の概況

釜山 韓国第一の港湾都市＝韓半島の東南に位置

釜山港（天恵の良港）を母体に発達

東南の経済圏の中心地

南 大韓海峡

北 慶南梁山市の熊上邑・東面・勿禁面、金海市、

及び金海市大東面

東 蔚山市の西生面と温陽面

西 鎮海市と金海市長有面

位置

東端 機張郡長安邑孝岩里 東経一二九度一八分一三秒

西端 江西区天加洞泊島 東経一二八度四五分五四秒

南端 沙下区大洞南兄弟島 北緯三四度五二分五〇秒

北端 機張郡長安邑鳴礼里 北緯三五度二三分三六秒

経度上の類似都市

国内 金海^{ギムヘ}、馬山^{マサシ}、光州^{グワジュ}

国外 東京、ロサンゼルス、バグダッド、アテネ

面積 七六六・一二km²

人口 三、四一四、九五〇人

男 一、六七六、六八九人

女 一、七三八、二六一人

「釜山」の由来

一四〇二年（太宗二年）一月二八日 『太宗実録』

釜山：世に現れた最初

『慶尚道地理志（一四二五年）』『世宗実録地理志（一四五四年）』『慶尚道續撰地理志（一四六九年）』

「東萊釜山浦」と記述 この時代の漢字表記『富』。…『釜』

ではない

一四七〇年（成宗一年）二月一日付けの『成宗実録』

釜山という名称を使用

一四七一年 『海東諸国記』『東之釜山浦』

同誌の「三浦倭館圖」『東縣釜山浦』

一四七四年四月 「釜山浦地図」『富山』

この時期 釜山と釜山を混用…その後「釜山浦」

一四八一年 『東国輿地勝覽（二四八一年）』完成『釜山』

一五世紀末期から釜山が一般化

『東国輿地勝覽』編纂以前 釜山：それ以降釜山に替わった

市の歴史

任那（伽耶）↓ 新羅に合併…居漆山郡

七五七年 統一新羅時代『東萊郡』金海…地域の中心

九一八～一三九二年 高麗時代

釜山浦（蔚州東萊県に所属する漁村）

一三六七（太祖六）年 釜山鎮（戦略的な軍事要衝）設置…三

港（釜山浦、塩浦、齊浦）存在

一三九二年 李氏朝鮮（朝鮮王朝 一三九三～一九一〇年）

釜山地域：東萊県↓東萊府（東萊都護府）設置

一五世紀始 釜山浦『日本人居留地「倭館」設置（浦所倭館）

一四四三年 嘉吉条約（発亥約定）

李氏朝鮮との通交条約：歳遣船の定数決定

一五一〇年 三浦の乱

朝鮮半島三港の倭館居留日本人の暴動

対馬との国交断絶

一五二二年 永正条約締結

国交回復：歳遣船定数三〇隻

一五九一～九八年 壬辰倭乱（文禄・慶長の役）

日本 一五九八年『秀吉の死によって撤兵

- 一五九九年 再び東萊府に昇格
- 日本に対する外交政策遂行上の重要拠点的位置のため
- 一七世紀 朝鮮王朝と江戸幕府の交渉復活
- 龍頭山一帯に対馬藩の草梁倭館設置
- 一八七六年 国際貿易港として開港
- 一八七七年 日朝修好条規⇨朝鮮開国
- 三ヶ所の開港地の一つ(仁川・元山)
- 倭館・継統
- 一八九五年 慶尚道廃止
- 東萊府(二十三府制)
- 翌年 慶尚南道：釜山に道庁設置
- 一九一〇年一〇月一日 日本併合
- 慶尚南道東萊府 ↓ 釜山府に改称(○)
- 一九一四年(日本統治時代) 行政区画整理：釜山府設置
- 一九四九年 八月一日⇨釜山府は釜山市となる
- 一九五〇年 朝鮮戦争勃発⇨ソウル陥落
- 一九五三年まで臨時首都となる
- 一九五七年 出張所を区に改名
- 中区・西区・東区・影島区・釜山鎮区・東萊区を設置(六区)
- 一九六三年一月一日

政経研究所共同研究資料

- 釜山直轄市に昇格
- 朝鮮戦争後 金海郡の一部(現・江西区一帯)編入
- 一九九五年一月一日 釜山直轄市は釜山広域市に改称(二二区)
- 三月一日(二五区一郡)
- 釜山 イメージとブランド価値を更に高揚して世界都市へと挑戦
- 二〇〇二年 釜山アジア競技大会開催 + ワールドカップ
- サッカー大会開催
- 二〇〇三年 世界合唱オリンピック大会開催
- 二〇〇四年 I T U 総会開催
- 二〇〇五年 アジア太平洋首脳会議(A P E C) 開催
- 二〇一一年 釜山世界援助開発会議開催
- その後の行事 アジアを代表する釜山国際映画祭、釜山ビエ
- ンナレ、釜山国際ロック
- フェスティバル、釜山世界花火祝祭等を開催
- 釜山市 前途洋々たる都市
- 韓国国家工団、釜山新港湾建設とセンタムシティ開発
- 釜山の未来をリードする映像、情報、観光などの戦略産業を
- 育成し世界と交流する
- 二一世紀国際交流拠点海洋都市に発展

姉妹都市（24都市）

都 市	国	提携年月日	備 考
高 雄	台湾	66.6.30	台湾第2の都市であると同時に、最大の港湾都市
ロサンゼルス	アメリカ	67.12.18	北米・太平洋沿岸の最大港湾都市、宇宙航空の中心地
下 関	日本	76.10.11	水産業が発達した西日本の交通中心都市
バルセロナ	スペイン	83.10.25	文化芸術都市であると同時に商工業の中心都市
リオデジャネイロ	ブラジル	85.9.23	世界3大美港の一つ、輸出入高ブラジル第2の都市
ウラジオストック	ロシア連邦	92.6.30	ロシア連邦極東地域最大の港湾都市
上 海	中国	93.8.24	中国第1の港湾都市、商業・金融・貿易の中心地
スラバヤ	インドネシア	94.8.29	ジャワ州の中北東の海岸都市、海洋産業、貿易等発達
ビクトリア	オーストラリア	94.10.17	エネルギー産業が主産業、交通・港湾の中心地
ティファナ	メキシコ	95.1.17	NAFTA 圏メキシコの工業、貿易の中心都市
ホーチミン	ベトナム	95.11.3	ベトナム3大特別市の一つ、最大の港湾都市
オークランド	ニュージーランド	96.4.22	第1の港湾都市、産業・経済の中核都市
バルパライソ	チリ	99.1.27	チリ最大の港湾都市、チリの立法首都
ウエスタン・ケープ州	南ア共和国	00.6.5	港湾都市、ケープタウンが中心の南ア共和国第2の州
モントリオール	カナダ	00.9.19	カナダ第2の貿易中心都市、パリに次ぐ仏語圏最大
イスタンブール	トルコ	02.6.04	第一の経済中心都市、EU・東欧への再輸出の前進基地
ドバイ	UAE	06.11.13	中東の港湾・物流・観光の中心都市
福 岡	日本	07.2.2	九州の北東端に位置する西日本の拠点都市
シカゴ	アメリカ	07.5.7	米カ第2の都市で展示・コンベンション都市
サンクトペテルブルグ	ロシア	08.6.11	露第2の都市、港湾・観光都市としては第1
プノンベン	Cambodia	09.6.11	首都・経済、産業、商業、文化、観光、歴史の中心地
ムンバイ	インド共和国	09.11	インド最大の金融 / 産業都市
シーサルオニキ	ギリシア	10.03	由緒深い文化都市
カサブランカ	モロッコ	11.4.26	最大都市、重要な港を有するアフリカ6番目の大都市

友好協力都市（6都市）

友好協力都市の現況

都 市	国	提携年月日	備 考
深 圳	中国	07.5.17	中国南東部に位置した中国最初の経済特区
天 津	中国	07.7.23	中国4大直轄市の一つ、北方地方最大の商業貿易中心地
重 慶	中国	10.12.02	世界で最大の面積、人口を抱えた都市（韓国より若干小さい）中国西部大開発の中心地
大 阪	日本	08.5.21	日本第2の都市であり、関西の中核都市また、世界主要都市・サミット議長都市
バンコク	タイ	11.7.11	タイの首都であり、政治、経済、文化、交通の中心地
北 京	中国	13.8.14	中国の首都、政治、文化、国際交流の中心地

国際交流

姉妹都市との関係

下関市 一九七六年一〇月一日に釜山市で姉妹提携書に署名
本州の最西端

一九七〇年から釜関フェリー運航

一九九二年からコンテナ船が就航

一九九二年四月二八日 公務員相互派遣協定

釜山市は毎年、日本側は二年毎に各一名ずつ派遣

観光展、国際会議の共同参加、職員研修団の訪問等を毎年実施

二〇〇六年八月 姉妹提携三〇周年記念行事を下関で開催

福岡市 一九八九年一〇月二四日に福岡市で行政協定都市交流

のための協定書に署名

二〇〇七年二月二日 釜山市で姉妹提携を締結

日本の西南部（九州北部）

行政、情報、経済、教育の中核都市

九州最大のビジネス拠点都市

福岡市は韓半島と中国大陸に一番近い

昔から大陸文化の受け入れの窓口

一九九〇年九月二七日 公務員相互派遣協定

釜山市は毎年、福岡側は二年毎に各一名ずつ派遣

日韓関係

政府レベル⇨若干問題がある

⇩ 民間及び地域交流は進んでいる

釜山 日本と最も近い都市⇨交流は必然

九州との交流は活発

国際交流の基本的な方向 グローバル

今年 MOU (?) 二〇一四・四 中西部

日本・長崎県 アメリカ・ヒューストン

近距離 福岡市 超広域経済圏

日本 人的交流が中心

中国 青島他

東南アジア 開発途上国

開発援助・医療・教育・市政・文化交流

医療 医師が現地で診療⇨医師団派遣

教育 教育団派遣

釜山 民間交流⇨活発化 But 小規模・姉妹(友好)都市

中心

韓国 国際交流予算⇨議会は協力的

⇩ KOIKA 韓国外交部の下部機関は大規模な活動

釜山 コンテナ取り扱い⇨世界第五位 アジア

⇩ 北米 積み替え

中国 上海や寧波 ⇩ 採算性・上海のほうが安い

⇩ 北極航路は釜山が近い

国際交流 グローバル・サポーターズ(釜山市民+在釜外国人)

を結成

釜山国際交流財団 姉妹都市委員会⇨名誉領事三〇名を任命

日本人はいない

事務局がない:市職員もメンバーであり協力している

釜山広域市の今後:釜山経済のさらなる発展のための十大ビ

ジエン

〇一 北東亜のハブ港湾に育成⇨釜山港⇨高付加価値物動量創

出型先進港湾へと躍進

釜山港 開港以来最大事業の新港建設

世界的に競争力を備えた北東亜の中心港湾に躍進

北東亜地域 世界物流の中心地に浮上

隣接国家間のハブ港湾育成競争が熾烈

二〇一一年まで 一二船席の埠頭施設の完成

二〇一五年まで 三〇船席規模の埠頭施設の完成

加徳島沿岸(江西)等コンテナ埠頭

三〇船席+港湾背後道路、鉄道等の背後交通網建設

連関産業 背後物流団地(六八八万㎡、背後鉄道網及び港湾

背後道路（二箇所）開設

第一段階 先端ビジネス、海洋文化観光、市民の休息機能を備

え持つ国際的なウォーターフロント空間の造成

釜山駅鉄道敷地の追加確保 北港と連携開発

○二 国際産業物流都市造成…洛東江下流の江西地域Ⅱ未来型
先端産業都市（釜山経済中興の革新拠点）に変貌

元都心の画期的な転機

江西地域 釜山新港と国際空港、東南経済圏の地理的中心

釜山港一般埠頭（沿岸埠頭）第四埠頭（一五三万㎡）
導入施設 海洋親水施設、港湾施設、商業・業務施設等の

釜山新港（世界有数の港湾の背後）圏域
環黄海、大韓海峡圏を結ぶ超広域経済圏形成の戦略

複合機能

的要衝地

国際複合物流団地

連関事業 釜山駅KTX施設の地下化（操車施設、一般列
車 釜田駅移転を含む）

先端産業団地及び天恵の自然環境：名品ビジネス都市造成

釜山経済の新たな成長動力拠点浮上計画

○四 映画・映像タウン造成…国際的競争力のある映画・映像

洛東江下流の江西地域一円（約三三km²）

産業を集中的に育成

広域産業団地 東南圏戦略産業融複合海洋複合産業等

釜山 アジア最高の映画祭に成長した釜山国際映画祭開催都市

複合物流団地 組立加工 部品素材 供給基地等

↓ アジアにおける映画・映像のメッカに育てる

知識創造都市 国際業務、R&D、教育、住居など

映像関連施設物建立

○三 釜山港（北港）再開発…釜山港（一三〇余年の歴史）の

変貌

映画関公共機関移転

北港港湾機能の釜山新港への移行

映画の殿堂、釜山文化コンテンツ、釜山映画撮影スタ
ジオ、釜山映像後方作業施設、釜山映画体験博物館等

釜山北港 開港以来韓国国際交易の前哨基地

映画振興委員会、像物等級委員会、ゲーム物管理委員

ユーラシアの関門へ

○五 釜山金融中心市建設・特化金融機能を持つ金融クラスター形成

特化金融機能・港湾物流、船舶、水産等に差別化したもの

釜山「金融中心市」指定（二〇〇九・一〇）

金融ハブの役割付与

東北亜海洋首都Ⅱ国際金融・ビジネス機能の一層の強化

釜山金融中心地造成

国際金融中心店釜山の新たな成長を象徴する事業

釜山国際金融センター

釜山の主要金融機関・釜山に移る金融関連公共機関の移転

ホテル・ショッピングセンター等の付帯施設の移転

釜山国際金融センター（BIFC）造成、派生商品（R&D）

センター設立、炭素排出権取引所・商品取引所誘致、韓国船舶

金融公社設立、主要金融機関・船舶金融部署誘致等の推進

○六 東釜山観光コンベンションクラスター造成・海雲台・機張地域の優れた自然景観活用

東釜山

世界水準観光資源開発＋コンベンション施設拡充

アジア観光・コンベンションハブ

東釜山観光団地 機張機張域

世界的水準のテーマパークと四季観光休養施設などを造成

海雲台海水浴場 国内屈指の観光地（観光特区）

超大型複合観光リゾート造成

海雲台セカンドベクスコ（BEXCO）建設

展示・コンベンション事業の飛躍が目的

展示コンベンション事業・釜山の未来成長事業

BEXCOⅡ釜山（Busan）広域市海雲台区展示（Exhibition）

コンベンション（Convention）センター

東釜山観光団地（三六六万㎡）

テーマパーク、運動休養施設、ホテル、コンドミニウムなど

海雲台観光リゾート

規模八四階（洞）、一〇一階（洞）Ⅱコンベンション、コン

ドミニウム等

BEXCO施設拡充

展示場（二万㎡）、オーデトリウム（四千席）、駐車場など

原子力医学院

三〇四病床、放射線医学研究センター、放射線非常診療セ

ンターなど

○七 「釜山市民公園」造成・駐韓米軍基地（五三万㎡）ハヤ

リヤ敷地

軍部隊の施設 釜山鎮区楊亭蓮池・凡田洞一円のキャンブハ

ヤリヤ敷地五三万㎡

人間と自然が相生する生命の空間（釜山市民公園） 自然と文化、美麗が（一団）に變貌

秀麗な平地公園

釜山の發展と希望を象徴

市民の自負心と暮らしの質を向上

釜山の躍動性を生かした五つの波浪模様型テーマ林道と広大な芝生、清冽に流れる河川、各種公演と家族連れが施設と相俟った綺麗な都市公園を造成

主要事業 記憶、文化、喜び、自然、参与等の五大林道造成

関連事業 公園周辺にニュータウン造成

○八 東南圏広域交通網整備・釜山の位相と役割が拡大

釜山の拡大 東南圏広域交通網拡充

釜山・蔚山・慶南の一つの生活圏化

大釜山圏外郭循環高速道路（他の広域道路）・東海南部線複線電鉄化・釜山～海軽電鉄建設等

↓ 釜山を中心とする広域交通網の完成

東南圏八〇〇万住民

更なる緊密な連係交通環境内で一つの広域経済圏を形成

多様な広域交通手段を拡張（鉄道、道路、都市鉄道等）と物

流費用の減少

交通便宜拡張・釜山（東南広域経済圏の中軸管理都市）の機能と競争力の一層の向上

広域高速道路（三）釜山外郭循環道路、釜山～蔚山高速道路、南海高速道路

広域道路（五）華明～梁山、葺山～駕洛、華明～草亭、

金海府院～駕洛、巨加大橋

広域鉄道（三）東海南部線、釜山～金海軽電鉄、慶全線 直・複線事業

○九 金海空港加徳移転・二四時間空港の建設

東南圏の大きなメガシティリジョンへの發展

国際ハブ空港が必要

現在の金海空港 安全性と騒音問題 二四時間運航不可能

国際ハブ空港の機能遂行不可能

加徳島移転

港湾、鉄道、航空を連係する複合物流ハブ構築が必要

人間・資本が集中する名実相伴うアジアの関門都市への發展が不可欠

一、五〇〇万南部圏住民 現在 首都圏空港：不便の解消

年間五、〇〇〇億ウォンの経済的損失と莫大な物流費用減少

外国人観光客と外国人投資増加

国際ビジネス機会の増加⇨釜山の世界化

韓国の国家競争力一層強化

釜山江西区加徳沿岸 滑走路一本、ターミナルなど

一〇 夏季オリンピック誘致⇨釜山の国際ブランド向上⇨世界

一流都市跳躍の画期的転換点

オリンピック 世界が集める地球村最大の祝祭⇨世界の

都市が挙って誘致を希望

釜山 二〇〇二年のアジア大会を成功させた

ワールドカップと、第六回IOC世界体育文フォーラム

等、豊富な国際行事を経験

行事の運営能力、競技施設等を活用できる

オリンピック開催に向けた能力と条件を十分に兼ね備え

た都市

市民の熱望と意志を一つに集中⇨政府に早期承認を促す

世界社会体育大会等の国際スポーツ交流

釜山のオリンピック誘致に対する国際的支持基盤を着

実に構築する

作成 山田光矢

二・釜山港灣公社 (Busan Port Authority) による聞き取り調査報告書

釜山港灣公社広報館 広報担当者

参加者 山田光矢、佐渡友哲、孔 義植、崔 永鎬

釜山港灣公社 (BPA)

二〇〇四年一月に韓国初の港灣公社としてスタート

釜山広域市江西区加徳島北岸、鎮海市龍院洞及び安骨洞、熊

東湾

世界第五位のコンテナ港灣

北東アジア最大のトランシップ港⇨世界の主要幹線航路

と結束

年間一七〇〇万t以上の貨物取扱量を誇るスーパーハブ

港灣

世界約一〇〇カ国五〇〇の港灣と交流

中国、日本、ロシアを結ぶ各種フリーゲートネットワークを構築

より多くのトランシップ貨物の誘致

トランシップ貨物インセンティブ制度を施行

通関・検疫の迅速な検査システムの構築

未来型先端「Port」システムの構築

釜山港の国際競争力の一層の強化をはかる

「釜山港第二の開港」

新港開発事業と新港背後物流団地建設を推進

開発方向

二一世紀に備えた北東アジア国際物流中心港湾の開発

国際コンテナ主航路上の中心港 (Hub-Port) としての地位の確保

北東アジア経済圏の関門港として国際積換港としての機能向上

釜山港の慢性的な貨物滞留解消による国家競争力向上

港湾と都市機能が調和された総合物流

事業期間 一九九五～二〇一一年 (一六年)

総事業費 九兆一、五四二億ウォン (政府・四兆一、七三九億

ウォン、民間資本・四兆九、八〇三億ウォン)

事業内容 (コンテナ埠頭三〇船席、港湾及び背後敷地三二四万坪)

事業内容

政府施行分

防波堤・一、四九〇m

多目的埠頭・一船席〇・四km

投棄場護岸 二〇八km

コンテナ埠頭 三・六km (一一船席)

民間資本施行分

コンテナ埠頭 六・〇五km (一八船席)

港湾敷地 一、〇七二万㎡ (三二四万坪)

埠頭用地 六〇七万㎡ (二〇四万坪)

港湾関連敷地 三九七平方メートル (二二〇万坪)

事業概要

事業目標

海陸交通の要衝というメリットを生かした国際海洋観光拠点

の育成

環境に優しいウォーターフロントの開発を通じた市民への水

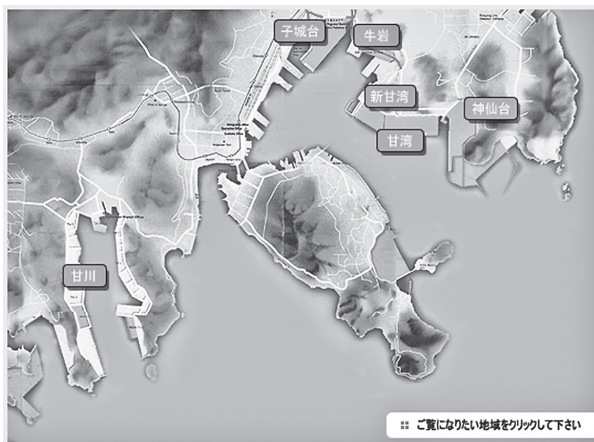
辺空間の提供

事業期間 二〇〇五年から二〇二〇年

総事業費 約八兆五、一九〇億ウォン

敷地造成 二兆三九〇億ウォン

上部施設 六兆四、八〇〇億ウォン



コンテナ埠頭



鳥瞰図



北港再開発事業

事業範囲 北港一〜四埠頭、沿岸及び国際旅客埠頭（一、五一

一千hr）

導入機能及び対象地の規模

基本コンセプト

市民がアクセスしやすい美しい水辺空間の提供

（アイルランド式ランドマーク及び歩行デッキを導入）

複合機能を備えた国際海洋観光拠点の開発

導入機能

商業・業務地区、複合都心地区、港湾施設地区、複合港湾

地区、IT・映像・展示地区、海洋文化地区

*海洋公園、市民の水辺空間などの公共施設面積を全事業

面積の約七七％確保して事業の公共性を最大限図る

土地利用計画 再開発事業の規模…約一五二万㎡

導入施設…約三二万㎡（二三％）

公共施設…約一一六万㎡（七七％）

経済的波及効果

一、約三一兆五千億ウォンの地域経済への波及効果

敷地造成段階 約四兆五千億ウォン

建築工事段階 約二兆七億ウォン

二、約一二万人の雇用創出

事業施行段階（敷地造成及び建築工事） 約八万三千人

政経研究所共同研究資料

施設利用段階（商業・観光部門従事者） 約三万八千人

南港

国最大の漁業前進基地：水産物流通の重要な役割

釜山共同市場、全国の水産物セリ市場の一日の取扱量の三

〇％（一日約八〇〇t）を水場

チャガルチ市場（水産物卸売り市場）、水産物冷凍及び加工

業者などが集中

多大浦港

釜山港の西側

現在 主に沿岸漁獲物を扱う

将来 釜山港の施設不足を解消し海洋環境の保全に向けた環

境に優しい港湾開発を計画

規模 岸壁九バース、防波堤一・二km、護岸五九三m

事業費 五、二五四億ウォン

甘皮港

水産物、沿岸貨物など、産業貨物専用埠頭処理機能が

複合された多目的港湾開発

↓ 遠洋漁業基地及び中小造船団地として開発する計画

作成 山田光矢

三、対馬市役所での聞き取り調査報告書

会場 対馬市交流センター3F会議室

日時 二〇一四年一月一日 午後二時～午後四時

参加者 対馬市観光物産推進本部 阿比留正臣係長

山田光矢、佐渡友哲、孔 義植、崔 ヨンホ（研究員）

対馬市の概況

位置 東経一二九度三〇分 ↔ 東経一二九度一〇分

北緯三四度四二分（大阪と同） ↔ 北緯三四度五分

（和歌山と同）

九州最北端：日本海の西側⇨南北八二km、東西一八km

博多 ↑ 一四七km ↓ 島の最北端

釜山 ↑ 四九・五km ↓ 島の最北端

博多 ↑ 一三八km ↓ 厳原港

構成 対馬島（上島・下島）、泊島、赤島、沖の島、島山島、

黒島、三ツ島、海栗島他約一〇〇

有人島：対馬島・海栗島・泊島・赤島・沖の島・島山島

面積 対馬島⇨七〇八・六六km²（日本で三番目に大きな島）属

島を含むと七〇九・〇一km²

佐渡島（八五四km²）・奄美大島（七二二km²）に次ぐ

東京二三区（六二二km²）より大きい。

人口 三三、五〇五人

男 一六、三三四人

女 一七、一七一人

世帯数 一八、二八五世帯（二〇一四・一・現在）

産業別人口（平成二二年）

第一次産業 三、三五七人（二一・六五％）

農業 五八五人（三・七七％）：米⇨自給率向上可能

林業 一七三人（一・一二％）：韓国輸出の可能性有

水産業 二、五五九人（二六・七六％）

第二次産業 一、九二〇人（二一・三二％）

鉱業 九人（〇・〇二％）

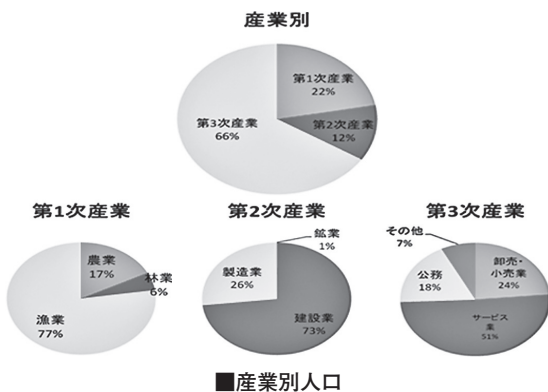
建設業 一、三九一人（八・九七％）

製造業 五一〇人（三・二九％）

第三次産業 一〇、二三三人（六五・九二％）

卸売・小売業 二、二二九人（二四・三七％）

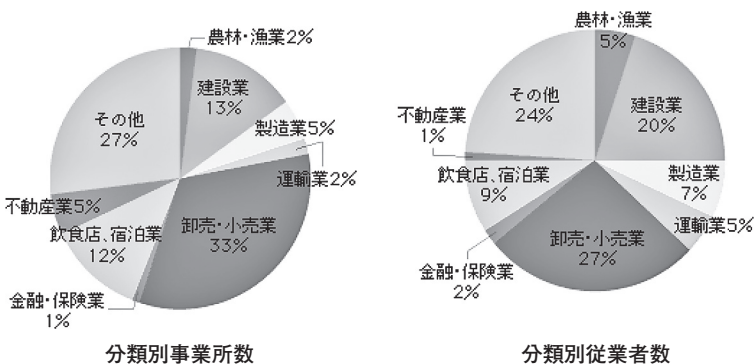
■産業別人口



サービス業 四、八〇一人 (三〇・九六%)
 公務 一、七二九人 (二一・一五%)
 その他 七〇二人 (四・五三%)
 分類不能の産業 一七人 (〇・〇一%)

分類別事業所数・従業者数

分類	事業所数	従業員数 (人)	分類	事業所数	従業員数 (人)
農林・漁業	37	574	金融・保険業	31	245
建設業	316	2,303	飲食店・宿泊業	290	1,066
製造業	127	821	不動産業	111	135
運輸業	53	630	その他(サービス業)	631	2,816
卸売・小売業	778	3,204	(平成16年事業所・企業統計調査)		



行政史

一八六九（明治二）年六月十九日 版籍奉還

宗義達（最後の藩主）「二〇七一年まで藩知事」が実施：府中を巖原と改称

一八七一（明治四）年 廢藩置県

八月七日 巖原藩を巖原県と改称

九月四日 伊万里県に合併

一八七二（明治五）年

五月二十九日 伊万里県は佐賀県と改称

八月一日 旧巖原県を長崎県移管

一八七八（明治一）年 町村数 \parallel 上県郡四五村、下県郡一〇

町六四村

一八八六（明治二八）年 対馬島庁設置 \parallel 巖原支庁を対馬島庁

と改称

一九〇八（明治四一）年四月一日 島嶼町村制施行

現在の対馬市にあたる各村発足

下県郡 巖原村・久田村・豆酸村・佐須村・鶏知村・竹敷

村・船越村・仁位村・奴加岳村

上県郡 峰村・仁田村・佐須奈村・豊崎村・琴村

一九一九（大正八）年四月一日

巖原村が町制施行：巖原町となる

一九二六（大正一五）年 対馬支庁設置

対馬島庁と各郡の役所を廃止

一九三二（昭和七）年四月一日 鶏知村竹敷村を編入

一九四〇（昭和一五）年一〇月一七日

鶏知村が町制施行：鶏知町となる

一九四八（昭和二三）年一二月一日

豊崎村町制施行：豊崎町となる。

一九四九（昭和二四）年 対馬開発五カ年計画決定

転県運動中止：対馬開発計画実現のため

一九五五（昭和三〇）年 町村合併

一三町村が九町村に：上対馬・美津島・豊玉・上県での合併

一月一日・豊崎町・琴村合併：上対馬町発足

三月一日・鶏知町・船越村合併：美津島町発足

三月二〇日・仁位村・奴加岳村合併：豊玉村発足

四月一日・仁田村・佐須奈村合併：上県町発足

一九五六年（昭和三一）年 九月三〇日

巖原町・久田村・豆酸村・佐須村合併：巖原町発足

一九七五年（昭和五〇）年 四月一日

豊玉村町制施行：豊玉町となる。

一九七六年（昭和五一）年 四月一日

峰村町制施行：峰町となる。

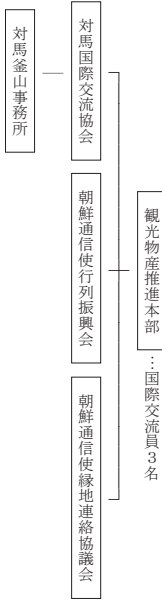
二〇〇四年(平成一六年)三月一日

対馬市誕生：六町合併

厳原・美津島・豊玉・峰・上県・上対馬

国際交流

国際交流事業の体制



国際交流史

一九七七年 グアムと姉妹島結縁

一九八六年 六町が釜山広域市影島区と姉妹縁組締結

↓ 二〇〇七年対馬市として再締結

一九九五年から「行政交流セミナー」開催

二〇〇三年 対馬釜山事務所開設(国際交流協会)

しま交流人口拡大特区認定

二〇〇五年 蔚山広域市蔚州郡と「文化交流協力に関する意向

書」を締結(二月)

政経研究所共同研究資料

十一月『友好協力了解書』を交換

蔚山 室町時代の朝鮮通信使「李藝」の出身地

二〇一二年七月 中国上海市崇明県と「友好関係覚え書き」を

締結：交流事業実施

上海市崇明県 人口約七〇万人 中国で三番目に大きな島

尖閣諸島問題による日中関係の冷え込み

交流事業休止状態

中国政府の命令？

二〇一三年 韓国との間で仏像盗難問題発生

いまだ返還されず

韓国 廃仏毀釈を実施 ↓ 一部の仏像が日本に流出

(買取等の正当な取引)

対馬釜山事務所

二〇〇三(平成一五)年四月

旧六町 財団法人対馬国際交流協会設立

対馬釜山事務所開設

所長 観光物産推進本部副本部長が兼務

現地職員二名(韓国人)を雇用

平成二四年度問い合わせ件数等

※()は、平成二三年度実績

問い合わせ件数 七、四六七（四、九〇九）件

パンフレット配布数 三九、〇〇六（二二、六八四）部

HPアクセス数 四八、三八四（三三、七〇二）件

影島区との交流

「行政交流セミナー」開催：毎年交互に訪問し実施

二〇一〇年 対馬⇨テーマ「環境施策」

参加者 影島区一六名、対馬市一八名

二〇一〇年 対馬⇨テーマ「水産業施策」

参加者 影島区一八名、対馬市一四名

二〇一〇年 対馬⇨テーマ「地域のイベントや祭り」

参加者 影島区一七名、対馬市一五名

二〇一〇年 対馬⇨テーマ「開発計画等」

参加者 影島区一二名、対馬市一九名

観光

交通網の拡充

一九七二年 フェリーつしま就航⇨厳原⇨博多航路開設

一九七五年 対馬空港開港⇨対馬⇨博多

七六年 対馬⇨長崎

八三年 ジェット機就航

一九七八年 フェリーあがた就航⇨比田勝⇨小倉航路

一九九八年 比田勝⇨博多航路に変更

一九八九年 対馬国際ライン「あおしお号」就航

比田勝港⇨韓国釜山港：不定期航路

一九九一年 「ヴィーナス」(ジェットフォイル・水中翼高速船) 就航⇨対馬⇨博多航路

シーフラワー就航⇨厳原⇨釜山(大亜高速海運⇨韓国資本)：不定期

一九九九年 シーフラワー⇨比田勝⇨釜山間定期就航

現在はおーシャンフラワー号

二〇〇一年 シーフラワー⇨比田勝⇨釜山間定期就航

対馬大亜ホテル開業(韓国資本のホテル⇨厳原に二軒)

二〇〇二年 KEA (Korea Express Air) ⇨大邸⇨対馬(プログラムチャーター便運行開始：七月)

一〇月九日から⇨ソウル金浦空港⇨対馬間も就航

二〇〇九年 JR九州⇨ビートル(ジェットフォイル⇨比田勝⇨釜山) 博多⇨釜山⇨臨時に対馬寄港) 就航

未来高速船株式会社(韓国資本)⇨コピー(ジェットフォイル) 就航⇨厳原⇨釜山

二〇一一年 二月四日⇨対馬発ソウル便のプログラムチャーター(土曜出国・日曜帰国) 開始

二〇一二年

観光客の動向

日本人観光客 一時歴女が急増⇒辻原登『韃靼の馬』がきっかけ：現在は激減

日本人の離島観光を促進する対策が必要

長崎県・「しま共通地域通貨」(愛称「しまとく通貨」)発行

対馬市 韃靼の馬のドラマ化や演劇化を企画(辻原氏も承諾)

NHKが興味を示すが竹島問題により中断

長崎大学に脚本作成と演劇化を要請：進展せず

(聞き取り調査の中で日本大学での実現可能性を打診される)

韓国入国者数の推移

H二〇 六五、四九〇人

H二一 四五、二六六人

H二二 六〇、二七八人

H二三 四七、六九六人

H二四 一五〇、八三六人

H二五 一三八、二八六人

H二五年九月末現在

韓国入観光客 年々増

ここ数年急増：ウォーキング客と釣り客が中心

一番近い外国

対馬市の経済 韓国からの観光客に依存している部分が高い

マナーの問題による対立が発生：徐々に改善が進んでいる

漁業権違反への警告 港等に掲示

飲食店等 入店お断りの張り紙

一部の観光客 釜山港の免税店で買い物

対馬に短時間上陸 ↓ 帰国後受取

免税でのブランド品の購入等で対馬観光を利用



韓国人観光客数の推移

韓国人観光客の経済効果(平成二〇年一二月長崎県統計課分析
資料抜粋: H一九)

H一九 韓国人観光客数 六五、四九〇人

島内消費額 二、一六四、七〇四千円

主な消費額

交通費 一六九、九三八千円

宿泊費 四九四、九三五千円

飲食・娯楽費 六八一、二〇六千円

土産品代 八一八、六二五千円

県内の生産誘発額 二、八九四、四四三千円

就業誘発数 三四二人(うち雇用誘発数:二六六人)

H二四 韓国人観光客数 一五〇、八三六人(日帰り割合三二%)

島内消費額 約三、三三一、〇〇〇千円

主な消費額

交通費 一三〇、〇〇〇千円

宿泊費 三九〇、〇〇〇千円

飲食・娯楽費 五九六、〇〇〇千円

土産品代 二、一五、〇〇〇千円

県内の生産誘発額 約三、九八一、〇〇〇千円

就業誘発数 五二五人（うち雇用誘発数：三九三人）

韓国との国際交流イベント

対馬 ↑ 四九・五km ↓ 韓国：日本と大陸交流の窓口

厳原港祭り対馬アリラン祭：対馬最大の夏祭り

一九六四年の対馬厳原港まつりが原型

一九八八年「対馬アリラン祭」追加

朝鮮通信使行列再現：四〇〇人規模

一九九一年 平成通信使交流Ⅱ影島区との友好交流事業実施

二〇一一年（平成二三）年八月

釜山文化財団、厳原港まつり対馬アリラン祭振興会、朝鮮

通信使行列振興会の三者で「友好交流協約書」締結

韓国の「朝鮮通信使祝祭」と対馬の「厳原港まつり対馬ア

リラン祭」相互発展のため

舟グロ―大会、演芸の夕べ、花火大会なども開催

二〇一三年 仏像盗難問題発生 サブタイトル削除

行列再現中止

観客数 H二一 三三、〇〇〇人（うち韓国人二、九〇〇人）

H二二 三五、〇〇〇人（うち韓国人二、〇〇〇人）

H二三 三一、〇〇〇人（うち韓国人 未集計）

H二四 二九、〇〇〇人（うち韓国人 未集計）
H二五 三〇、〇〇〇人（うち韓国人 未集計）

ちんぐ音楽祭 旧美津島町が平成八年から始める

毎年八月最終日曜日

日本と韓国の有名ミュージシャンによる合同音楽祭

ちんぐ 対馬地方の方言・韓国語

大変仲の良い友達（親友）の意

二〇一三年 仏像盗難問題発生：一月一七日に開催

観客数 H二一 一、〇〇〇人（うち韓国人五〇人）

H二二 一、〇〇〇人（うち韓国人四〇人）

H二三 一、二〇〇人（うち韓国人五〇人）

H二四 八〇〇人（うち韓国人六〇人）

H二五 一一／一七開催

国境マラソンIN対馬 旧上対馬町が始める

日韓約一、〇〇〇人（韓国から約二五〇人）参加

二〇一一年 韓国「慶州さくらマラソン」と姉妹縁組締結

種目 ハーフマラソン、一〇km、五・五km、三km、二km、

ウォーキング（六km）

参加者数 H二一 一、一六五人（うち韓国人二八人）

H二二 一、一八〇人（うち韓国人一二二人）

H二三 一、一〇八人（うち韓国人八二人）

H二四 一、三二一人（うち韓国人一七三人）

H二五 一、三八八人（うち韓国人二五五人）

日本歌謡大会

対馬市・在韓日本総領事館・釜山韓国文化交流協会共催

一九九八年 韓国政府Ⅱ日本大衆文化開放

日本歌謡を通じた日韓相互交流

二〇〇四年 日本の歌を日本語で歌う第一回「日本歌謡大会」

釜山市で開催：以後毎年開催

銀賞授賞者は、対馬ちんぐ・音楽祭にゲストとして出演

日本文化に興味を持っている韓国人の若者を対象

過去の（予選）参加者（チーム）数

①二〇〇四年 四四組 ②二〇〇五年 四二組

③二〇〇六年 六二組 ④二〇〇七年 八〇組

⑤二〇〇八年 七二組 ⑥二〇〇九年 一三六組

⑦二〇一〇年 一一〇組 ⑧二〇一一年 五〇組

⑨二〇一二年 四五組 ⑩二〇一三年 六六組

韓国との経済交流

木材、水産資源、水等の輸出に可能性がある

韓国人 富裕層Ⅱ戸建を望む：日本式家屋希望者も多い

二〇一四年 ソウル・板橋地区に木材モデルハウス建設を計画

木材ハウスの需要が増加すれば対馬の木材輸出の販路が拓ける

対馬の林業と関連産業の発展が見込める

朝鮮通信使の世界文化遺産登録計画

朝鮮通信使の歴史を通じた国際交流

一九九五年 朝鮮通信使縁地連絡協議会（縁地連）結成

目的 日韓親善友好の歴史的資産である「朝鮮通信使」を支

えた「誠信の交隣」を基本姿勢にして、二一世紀の

「アジア太平洋時代」とりわけ「日韓新時代」の重要

性を見据え、朝鮮通信使に関わりのある縁地で結成す

る。これにより、各地に残る歴史史料等について研究

を重ねるとともに、各地域の振興をはかりながら広域

縁地間の連携を強めるとともに「アジアの共生」の理

念から韓国内縁地との交流を促進し、ひいては日韓の

友好親善に寄与すること

参加団体 自治体Ⅱ一七 民間団体Ⅱ三七 個人Ⅱ一二二人

対馬市（長崎県）、杵岐市（長崎県）、新宮町（福岡県糟屋

郡)、下関市(山口県)、上関町(山口県)、呉市(広島県)、
福山市(広島県)、瀬戸内市(岡山県)、たつの市(兵庫
県)、神戸市兵庫区(兵庫県)、京都市(京都府)、長浜市
(滋賀県)、近江八幡市(滋賀県)、彦根市(滋賀県)、大垣
市(岐阜県)、静岡市(静岡県)、日光市(栃木県)

活動・業務 毎年、朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会を開
催(本年は第二一回)

各縁地における朝鮮通信使関連のお祭り等に参
加・支援

朝鮮通信使を記憶遺産に登録するための活動
(平成二十四年より)

機関誌の発行

釜山文化財団との連絡交流

国会議員連盟である朝鮮通信使交流議員の会と
の連携

二〇〇三年 韓国の「朝鮮通信使文化事業推進委員会」と「共
同推進協定書」締結

二〇〇七年 朝鮮通信使四〇〇周年〓各地で記念事業開催

二〇一一年 最後の通信使(対馬聘礼)二〇〇周年〓対馬で全
国交流会開催

「釜山文化財団」と「共同推進協定書」を再締結

二〇一二年 朝鮮通信使を世界記憶遺産に登録する活動に取り
組んでいる

朝鮮通信使を日韓共同で世界ユネスコ登録へ
なぜ日韓共同でユネスコ登録に取り組むのか？

朝鮮通信使は日韓・東アジア・世界平和を志向した平和
遺産であるから

二〇一五年は日韓国交正常化五〇周年

友好関係修復の象徴となるため

日本政府に求められること

取りまとめ 関係団体〓一都二府一二県

政府による取りまとめが不可欠

政府主導による体制固め

日韓共同登録の意義を理解し、政府が登録に必要な体
制の構築をもとめる

これまでの活動

二〇一二(平成二四)年一〇月一日

朝鮮通信使特別講演会〓ユネスコ登録への道〓開催
(対馬)

二〇一二(平成二四)年一〇月一九日

釜山市で世界記憶遺産登録のための国際シンポジウム
開催

- 二〇一二（平成二四）年一月二日
 緑地連臨時総会（京都）
- 世界記憶遺産登録推進を確認
- 二〇一三（平成二五）年一月八日
 釜山文化財団との協議（釜山 南松祐代表理事、車載根室長）
- 二〇一三（平成二五）年一月二日
 朝鮮通信使交流議員の会（河村会長、谷川幹事長）へ
 陳情
- 二〇一三（平成二五）年一月二三日
 国立国会図書館・韓国文化院
 使用録・筆談唱和集での登録断念を確認
- 文科省訪問Ⅱ記憶遺産についての詳細説明を受ける
- 二〇一三（平成二五）年二月二四日
 広島国際シンポジウム（福山市、主催 NGOひろしま）
- 二〇一三（平成二五）年三月二日
 文科省訪問協議（仏像問題との関係）
- 二〇一三（平成二五）年六月二日
 文科省訪問（緑地連・長崎県）
- 長崎県から世界記憶遺産登録に関する政府施策要望書を提出
- 二〇一三（平成二五）年九月五日
 長崎県に行った世界記憶遺産登録の視察内容の説明
 宮城県の慶長遣欧使節団と田川市の福岡県・山本作兵衛の世界記憶遺産登録を確認
- 二〇一三（平成二五）文科省及び朝鮮通信使交流議員の
 会訪問
- 二〇一三（平成二五）年一〇月一八日
 長崎県庁にて長崎県と協議
- 松原理事長、中尾研究会会長、阿比留事務局長
- 二〇一三（平成二五）年一月三〇日
 日韓議連合同総会Ⅱ共同声明文採択
- 「両国議員連盟は、朝鮮通信使の世界遺産登録および日韓交流の共同チャンネルの実現に向けて協働する」
- 今後の活動予定
- 世界記憶遺産登録推進部会（仮称）の設立及び開催
- 世界記憶遺産構成検討学術委員会（仮称）の設立及び開催
- 文化資料調査及びデータベース入力作業
- 文化庁への訪問と協議
- 朝鮮通信使交流議員の会への陳情活動
- 日韓合同遺産構成リスト検討会議の開催
- 日韓国際シンポジウムの開催

二〇一五年 日韓国交回復五〇周年

国際交流員 国際交流事業全般で活躍中

一九九一年 美津島町等 交流員の招聘事業スタート

一九九六年 自治体国際化協会（CLAIR） 〓 JETプログラムによる招聘開始

JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）

（The Japan Exchange and Teaching Program）

外国語教育の充実や地域レベルでの国際交流を推進することを目的として世界各国の外国青年を各地域に招致する、

世界最大級の国際交流事業

CLAIR 総務省、外務省、文部科学省と連携しJET

Tプログラムを推進

JET参加者 全国各地の学校での外国語教育

地方公共団体における国際交流活動に参加

地域住民と様々な形で交流

二〇一〇年度 三六カ国から四、〇〇〇名

超が参加（これまでの参加者 五六カ国五

四、〇〇〇人超）

現在の交流員

韓国人二名

政経研究所共同研究資料

李 敏貞（イ ミョンジョン…ソウル出身）（観光物産推進本部）

朴 珺慧（パク ミヘ…京畿道水原市出身）（上対馬観光物産事務所）

中国人一名

羅 齊慧（ロー チーフエイ…安徽省出身）（観光物産推進本部）

主な任務 文書等の翻訳、イベント等の通訳業務、市民対象の語学講座の開催

官・産・学の国際交流協定

二〇〇三（平成一五）年七月 国際交流協定締結

旧上県町、株大亞高速海運、釜山外国語大学

目的 三者による国際交流の活性化を図り国際化・地方化時

代に添い地域社会の相互発展に寄与する

二〇〇七（平成一九）年 対馬市として再締結

釜山外国語大学校学生 毎年、海岸漂着ごみ清掃を実施

県立対馬高等学校の国際文化交流コース

二〇〇三（平成一五）年 「国際交流コース」開設

韓国語や韓国の歴史を学ぶ

二〇〇六（平成一八）年 第一期卒業

五人が釜山の釜慶大学校（三名）、東亜大学校（一名）、釜山大学校（一名）へ進学

二〇〇七（平成一九）年 釜山情報観光高等学校と姉妹校縁組

姉妹校縁組

学校訪問やホームステイなどを通じて相互の文化や慣習を学んでいる

一九九三（平成五）年一月一日

鶏知中学校 ⇄ 新仙中学校（釜山広域市影島区）

二〇〇〇（平成一二）年七月二十七日

今里中学校 ⇄ 只沙中学校（任賣郡只沙面）

二〇〇三（平成一五）年三月二十七日

浅海中学校 ⇄ 熊村中学校（蔚山広域市）

民間団体の姉妹縁組締結

一九八三（昭和五八）年二月二一日

対馬ライオンズクラブ ⇄ 釜山東洋ライオンズクラブ

一九八四（昭和五九）年一月一七日

つしまハムクラブ ⇄ 釜山ハムクラブ

一九九二（平成四）年一月二十六日

対馬ロータリークラブ ⇄ 巨済ロータリークラブ

長崎県の離島政策

「しま共通地域通貨」（愛称「しまとく通貨」）発行

長崎県の離島行政の一つ

平二五年四月一日から平成二七年度までの三年間

発行額 毎年度三六億円：合計一〇八億円

一. しまとく通貨

長崎県内の五島、壱岐、対馬、小値賀、宇久の各しま（島）

において、共通して使用できる「二〇%のプレミアム付き商品券」

二. しまとく通貨の発行目的（最大の目的）

全国からの観光客を五島、壱岐、対馬、小値賀、宇久の各しまに誘致すること

しまの地域経済の活性化や交流人口の増加が目的

しまの人口減少への歯止策の一つ

三. しまとく通貨の発行形態

千円券六枚を一セットとして六、〇〇〇円相当分を五、〇〇〇円で販売

一回の渡航につき一人六セット（三万円）まで

有効期限 六カ月以内

四: しまとく通貨の発行団体
しま共通地域通貨発行委員会(事務局…長崎県離島振興協議
会内)

作成 山田光矢